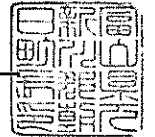




朝建設第44号
平成19年4月26日

国土交通省 道路局長 殿

朝日町長 魚津 龍



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答いたします。

「道路特定財源の見直しに関する具体策」に
基づく道路整備の中期計画に係る町の意見

道路は、住民の生活や経済・社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、道路網の整備は活力と魅力ある地域づくり、安全で快適な環境づくりを推進するために必要不可欠である。

当町は、急峻な地形や河川等の地理的制約を克服しつつ、降雪時においても円滑な交通を確保し高齢化社会にも配慮した、どこに住んでいても快適な生活が営めるネットワーク社会を築くためには、より一層の道路整備を推進していくことがきわめて重要である。

さらに、広域的な地域間連携や観光・文化交流、物流を促進する幹線道路をはじめ、安全で安心な暮らしを支える通勤、通学路や災害に強い道路など、地域における道路整備はいまだ不十分な状況にあり、住民からの要望も多く寄せられているのが現状である。

このため町としては、

- ① 着実な道路整備に向け、道路特定財源の制度趣旨を踏まえた、安定的な財源の確保
- ② 整備が遅れている中山間地域の道路が、災害に強く安全安心なものとなるよう、積極的かつ迅速な整備の推進
- ③ 道路特定財源以上に一般財源を充当し、道路整備を推進している実情を勘案のうえ、地方の道路財源の充実強化
- ④ 活力ある地域づくりや地域再生を推進するため、地域間の連携推進を図る道路整備の一層の推進を図る必要がある。

<今後の道路整備の地域からの提案等について>

- ① 高齢社会にも対応した人にやさしい道づくり
- ② 安全で安心な暮らしを支える災害に強い道づくり
- ③ 豊かな自然を守り地球環境にやさしい道づくり
- ④ 総合的な交通体系の形成を支援する道づくり
- ⑤ 賑わいのあるまちづくりと一体になった道づくり
- ⑥ 地域の活力を育むための道づくり
- ⑦ 国内外の交流と連携を促進する道づくり
- ⑧ 住民が主役の道づくり

<具体的な道路に関する要望（課題、意見を含む）>

国県要望等

①国道8号改築工事（朝日滑川間）の整備促進

- ・新城山トンネル、新横尾トンネルの整備検討
- ・自歩道拡幅事業の促進（平柳西から横尾トンネル口）

※日本海関東首都圏連絡道路構想の推進

②管内県道改良事業の促進

- ・魚津・朝日間湾岸道路の建設促進
- ・㊦入善朝日線の整備促進（草野～古黒部間、元屋敷）
- ・㊦朝日宇奈月線道路改良工事の促進（柳田）
- ・㊦県道金山古黒部線道路改良事業（舟川新～古黒部、金山）
- ・㊦県道舟見入善線道路改良工事（金山～小杉）
- ・㊦県道山崎泊線（石谷）
- ・㊦黒部朝日公園線道路改良事業の促進（細野～中沢間、羽入）
- ・㊦県道山崎草野線道路改良工事（桜町、高畠）
- ・都市計画道路停車場東草野線臨時街路交付金事業の促進
- ・大規模自転車道（富山朝日自転車道線入善・朝日間）の事業着手

③市町村道整備事業の採択

- ・（仮）野中大家庄線の新規採択

課題

- ① 橋梁等の既存道路施設の適正な維持管理
- ② 災害時等における防災対策として、北陸自動車道と国道8号のアクセス道整備による、緊急輸送や避難道路の確保
(豪雨災害や津波等対策)
- ③ 安定した、道路財源の確保

<その他>

道路行政に関する意見

- ①地域格差のない道路行政の推進
- ②安全安心な道路整備の推進（交通事故対策への対応）
(緊急輸送や避難道路の確保)